

# 【東京大学陸上部春の本部町合宿】

今年も東大医学部鉄門陸上部と東大全学陸上部、新潟大学医学部陸上部の総勢約60名が、3/6（水）～3/11（月）の間本部町陸上競技場で全国一早い春合宿を行いました。今回で8回を数え、3月の恒例行事となっております。



東京大学鉄門医学部陸上部・  
新潟大学医学部陸上部のみなさん

東京大学全学部陸上部のみなさん



上田先輩の  
激励の言葉



## 本部高校で出前授業も行いました!!



3月8日（金）の午前中に、東大生12名により3名ずつに分かれて本部高校の1年生2クラス、2年生2クラスで講師として授業を行いました。

授業内容は、進路選択、進路決定のきっかけ等についての話を中心に、2年生は昨年も出前授業を経験しているため、お互いに顔を覚えていた生徒たちもいて、アットホームな雰囲気での授業が始まりました。一年生のクラスでは、東大生も本部高校の生徒も少し緊張した様子でしたが、授業終盤は緊張もほぐれたのか生徒から東大生への質問もあり、笑い声が聞こえる場面も見られ楽しい時間を過ごしました。



# 【東京大学陸上部との地域交流会】

3月8日（金）、本部町産業支援センターにて「第8回東京大学鉄門医学部陸上部と全学部陸上部との地域交流会」を行いました。

中学校卒業式や県立高校入試試験などの行事があいつぐ中、70名余の参加がありました。その内46名は昭和薬科大学附属高校・中学校の生徒で、早々と参加の希望があり、遠くからお越し下さいました。地元の本部高校の生徒も21名、名護市から小学生も参加しました。東大医学部21名、東大全学部35名、新潟大学医学部5名を合わせると約150名が参加しました。

主催者の当院上田理事長・藤本事務長の挨拶から始まり、平良武康町長の激励の挨拶、仲宗根教育長、昭和薬科大学附属高等学校・中学校の諸見里校長先生や本部高校の仲宗根校長先生にもご挨拶を頂きました。

約2時間の交流会では、テーブルを学部ごとに分け、高校生たちはこの日の為に準備していた質問をし、その質問に対して東大生が言葉を選びながら丁寧に回答していました。

はじめは若干硬い雰囲気でしたが、勉強以外の質問も飛び交う中で次第に緊張が解け笑顔も見られました。東大生が身近に感じられるような充実した交流会になったと思います。今後も続けていけると幸いです。



## 参加者の感想

一つの質問に色々な答えが返ってきて、聞いていてとても楽しかった。みんなしっかり勉強だけでなくスポーツもやっていますすごいなと思った。

実際に大学受験を乗り越えた方々の実体験を聞くことができ、少し実感が湧いてきたように思えます。不安に思っていたことも実際に話しを聞くことで、こうした方がいいとか現実的に考え、頑張ろうと思いました。遠い憧れに感じていた東大も少し身近に感じられ、貴重な体験ができたと思います。

自分は東大志望ではないが、東大生の学生時代の話や東大を選んだ理由などを聞いて、自分の今やるべきこと、これからの目標をしっかりと決めることができた。自分の抱える悩みなどが解消できて有意義な時間だった。



グループでの交流だったので、自分が知りたいことを聞いてよかった。また、席替えがあったのでより多くの人から話しをきけて幅広い意見や経験を知ることができた。“東大”というと難しく、大きな壁であるように思っていたが、交流会を通して身近に感じた。この会で学んだことをこれからの受験に生かしたい。